

令和8年1月市議会臨時会 建設水道委員会資料

第3号議案 令和7年度長崎市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）

【目次】

指定管理者に対する光熱費高騰支援	2～4
1款 駐車場費	
1項 駐車場総務費	
1目 駐車場管理費	

土木部
令和8年1月

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
12~13	1 駐車場費	1 駐車場総務費	1 駐車場管理費	1-1	駐車場管理運営費	千円 14

1 事業概要

- 電気・ガス料金や燃料費などの光熱費の高騰が長期化していることに伴い、公の施設の管理運営に与える影響が継続していること、また、今後の光熱費の価格の動向が見通しづらい状況もあることから、安定した施設の管理運営を行うため、公の施設の指定管理者に対して、運営状況に応じ、補助金として支援を行うもの。
- 支援の対象経費や支援額の算出については、令和4年度及び令和6年度に行った支援と同様とする。

2 事業内容

(1) 支援の対象経費

施設管理運営経費のうち、電気料金、燃料費（ガソリン）

(2) 支援額

対象経費の影響額の1/2 (1,000円未満切り捨て)

2 事業内容

(3) 影響額の算出方法

- 当初積算時に、施設の管理運営にかかる必要な使用量を算出していることから、単価の増による影響額となる「影響額①」を基本とする。
- ただし、当初積算時の使用量のまま再積算すると、実績と比べて過大となる場合は、「影響額②」とする。

ア 影響額①（長崎市の積算ベースによる算出）

- 当初の積算額（A）と、当初積算の使用料金の単価を現在の使用料金の単価（令和7年4月から11月までの実績の平均）に置き換えて算出した額（B）との差

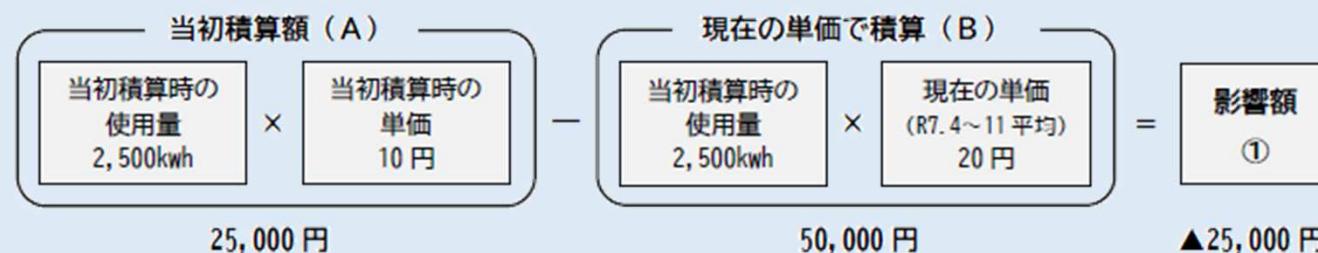
イ 影響額②（実績ベースによる算出）

- 当初の積算額（A）と、令和7年4月から11月までの実績額に、令和7年12月から令和8年3月までの見込額を加えた額（C）との差

【影響額の算出方法のイメージ図】

- 市の当初積算時の使用量（年間必要量）：2,500kwh
- 市の当初積算時の単価：10円⇒現在の単価：20円（令和7年4月～11月平均）
- 令和7年度使用料金見込額：40,000円（「令和7年4月～11月実績」+「令和7年12月～令和8年3月見込」）

ア 影響額①：長崎市の積算ベース

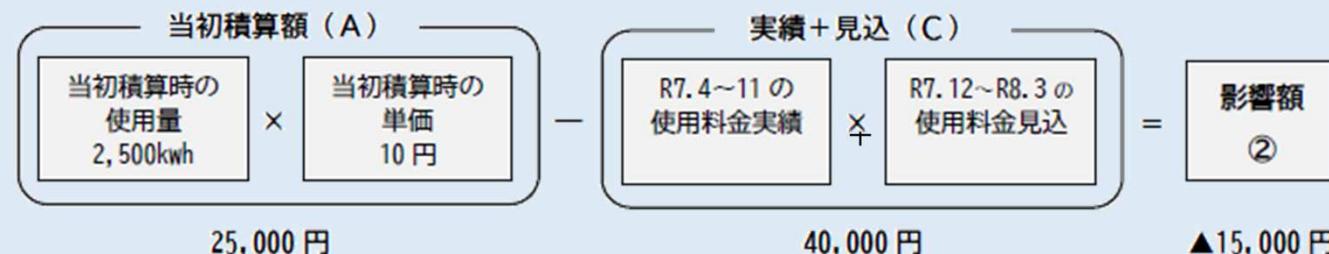


影響額①と②を比較し、影響額①が過大となることから、影響額②を適用

【支援額】

$$15,000 \text{ 円} \times 1/2 = 7,500 \text{ 円} \\ \approx 7,000 \text{ 円} \\ (1,000 \text{ 円未満切捨})$$

イ 影響額②：実績ベース



3 施設一覧

長崎駅西口自動車整理場

支援額 14,000円

4 財源内訳

事業名	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源※
駐車場管理運営費	千円 14	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 14

※一般会計繰入金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（充当率10/10）充当）